

## 2021年度 野生生物保全管理講習会 募集要項

人の活動は様々な面で野生生物に影響を与えており、種の減少・絶滅の主な要因となっています。一方で、野生生物による農畜産物への被害等、野生生物が人の活動に与える影響も少なくありません。特に十勝地方は農畜産業を基幹産業としており、人と野生生物がどのように関わっていくべきかが大きな課題となっています。

国立大学法人帯広畜産大学は、北海道の基幹産業である農畜産業を始めとする経済活動と、自然生態系における生物の多様性を両立し、農業生態圏と自然生態圏の共生を実現できる「農業共生圏高度専門家」の育成を推進しており、今年度も以下の内容で講習会を実施します。

なお、この講習会は、環境コンサルタント等の民間企業や野生生物の保全管理を担当する行政機関の職員と合同の研修となります。野生生物の保全管理に関する知識や技術の習得のみならず、社会人と交流することにより、就職観の醸成と関連業態が求める人材について理解が深まることを期待しています。

また、今年度は座学講座と野外実習の実施日を分け、座学講座はZoomを利用したオンラインで、野外実習は本学において対面で実施いたします。

1. 募 集 人 員： 全日程受講者：10名（先着）  
                  選択受講者（座学のみ）：定員なし  
                  ※ただしグループワークは定員を10名とし、全日程受講者を優先いたします。
2. 講 習 内 容： 座学及び野外での実技を通じて野生生物の保全管理に関する正しい知識と技術を習得する。
3. 目指す人材像： 人の経済活動と生物多様性が両立した農業共生圏の実現に向けて、野生生物の保全管理に関する基本的な知識と技術を持つ人材の育成を目指します。
4. 本講習会を受講することで期待される効果：
  - (1) キャリアアップの参考となる幅広い基礎知識・基礎技術の習得（特に新規採用～中堅職員）
  - (2) 野生生物の保全・管理に関する、新たな事業展開及び効果的な保全管理計画策定のきっかけづくり
  - (3) 様々な企業、業種の方とのグループディスカッションを通じたコミュニケーション能力や合意形成能力の向上及び業種内・業種間のネットワーク構築
5. 対 象 者： 本学に所属する学部3年生から大学院生のうち、野生生物関連の職種へ就職を検討する学生
6. 参 加 条 件： 野外実習においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の条件に一つでも当てはまる方は参加いただけません。

- (1) 講習会実施日の2週間以内に海外又は国内の新型コロナウイルス感染拡大地域に行かれた方（感染拡大地域に該当するか否かについては、事前にお問合せください。）
- (2) 講習会実施日の2週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患された方又は濃厚接触者になられた方
- (3) 講習会当日に37.5℃以上の発熱又は風邪症状がある方

7. 修了認定等： 座学及び野外実習を含む全ての講座を受講された方には、国立大学法人帯広畜産大学が発行する「野生生物保全管理講習会修了証書」を授与します。また、講義を受講された方の中で希望者には一般社団法人建設コンサルタント協会 CPD 認定プログラム受講証明書を発行します。  
※座学のみ参加の場合、修了証書は発行されません。

8. 開講日時：①野外実習

10月26日（火） 14：00～16：00

10月27日（水） 8：00～12：00

②座学講座

11月 1日（月） 13：00～17：20

11月 8日（月） 13：00～17：20

11月15日（月） 13：00～16：50

11月22日（月） 13：00～17：00

9. 実施場所： ①野外実習：帯広畜産大学 総合研究棟 I 号館E2503室及び近隣河畔  
②座学講座：Zoomによるオンライン実施

10. 講義日程等： 別紙1及び2をご参照ください。

11. 受講料： 無料

※ただし、オンライン講義でのデータ通信料は各自ご負担ください。

12. 申込方法： 右の二次元バーコード又は下記URLの申し込みフォームからお申込み下さい。  
<https://www.obihiro.ac.jp/wildlifeconservation>  
※申込フォームからのお申込みが出来ない場合は、申込書データをお送りいたしますので、下記お問合せ先へメールにてご連絡ください。



13. 募集期間： ①野外実習を含む全日程を受講される場合  
8月16日（月）9時から9月10日（金）17時まで  
②座学講座を選択で受講される場合  
8月16日（月）9時から9月30日（木）17時まで

14. その他：
- ・大学院生の方は、必ず指導教員の了承を得て参加してください。  
学部生の方は、本講習会参加によって授業を欠席する必要がある場合、事前に授業担当教員に断って参加してください。
  - ・実技をともなう講義を受講する学生には、講師の補佐をお願いすることがあります。
  - ・座学はオンラインで実施しますので、パソコンのカメラ・マイク・スピーカー機能が必要となります。動画等の視聴も行いますので、動画が滑らかに視聴できる通信環境で受講ください。
  - ・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、野外実習を中止し、座学講座（オンライン）のみとする場合がありますのでご了承ください。

15. お問い合わせ先： 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地  
国立大学法人帯広畜産大学 国際・地域連携課 地域連携係  
TEL：0155-49-5776 E-mail：wildlife@obihiro.ac.jp

**【個人情報の取扱いについて】**

- (1) 国立大学法人帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

## 講義日程

## ①野外実習

日程		時間	講義名	講師	定員	分野
10/26	14:00~16:00	2	野生生物捕獲法	帯広畜産大学 浅利裕伸	有	共通
10/27	8:00~12:00	4	野生生物調査法 I・II	帯広畜産大学 浅利裕伸 (株)造景 大熊勲	有	共通

## ②座学講座（オンライン）

日程		時間	講義名	講師	定員	分野
11/1	13:00~13:30	0.5	オリエンテーション	帯広畜産大学 柳川 久	無	
	13:30~14:30	1	野生生物管理のための法律学	帯広畜産大学 野原香織 十勝総合振興局環境生活課	無	共通
	14:40~15:40	1	データ解析入門	帯広畜産大学 赤坂卓美	無	共通
	15:50~17:20	1.5	野外調査のリスク管理 ※グループワーク	帯広畜産大学 浅利裕伸	有	共通
11/8	13:00~14:30	1.5	十勝の野生生物と保全	帯広畜産大学 浅利裕伸 北海道ラプターコンサベーション 平井 克亥	無	保全
	14:40~16:10	1.5	獣害防除学	株式会社地域環境計画	無	管理
	16:20~17:20	1	野生生物の交通事故	帯広畜産大学 浅利裕伸	無	保全
11/15	13:00~14:30	1.5	外来生物と生物多様性 ※グループワーク	帯広畜産大学 浅利裕伸	有	共通
	14:40~15:40	1	希少植物の保全	帯広畜産大学 佐藤雅俊	無	保全
	15:50~16:50	1	水生生物の保全	NPO 法人環境把握推進ネットワーク	無	保全

11/22	13:00~15:00	2	インタープリター学 ※グループワーク	株式会社自然教育研究センター	有	共通
	15:10~16:40	1.5	十勝の野生生物と管理	(株)造景 大熊勲 北海道総合研究機構 山口沙耶	無	管理
	16:40~17:00	/	閉会式		/	/

## 講義内容（共通分野）

講義名称	講義内容	形態	時間	選択受講
野生生物捕獲法	野生生物の捕獲は個体数管理のためだけでなく、その地域に生息する種の把握や生態的特性を知るために必要な作業である。動物種の大きさに応じた罠を用いて、野生生物の捕獲方法について学ぶ。	実習	2 h	×
野生生物調査法 I	野生生物の保全管理を行う上で重要となる情報（対象種の生態や分布）を調査する際に必要となる基礎技術（痕跡調査法、双眼鏡による観察）について学ぶ。	実習	2 h	×
野生生物調査法 II	野生生物の保全管理を行う上で重要となる情報（対象種の生態や分布）を調査する際に必要となる基礎技術（地形図判読、自動撮影カメラ、テレメトリー法）について学ぶ。	実習	2 h	×
オリエンテーション	本講習会の目的について説明するとともに、野生生物の保全と管理の必要性や考え方を紹介する。	座学	0.5h	—
野生生物管理のための法律学	「動物の愛護及び管理に関する法律」や「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」など、関連法規の基礎知識に加え、鳥獣捕獲の許可申請について、申請の流れや必要な添付書類、注意点を学ぶ。	座学	1 h	○
データ解析入門	野生生物の調査で得られたデータを適切に整理し、保全や管理に活用するためのデータ解析に関する基礎的な方法について学ぶ。	座学	1 h	○
野外調査のリスク管理	危険生物との遭遇や危険な場所での作業等、野外調査に伴う多くのリスクへの対応について、グループワークを交えて学ぶ。	座学	1.5 h	○ ※定員あり
外来生物と生物多様性	国内外の外来種問題を事例に挙げながら、外来種の侵入防止や拡大防止についてグループワークを交えて学ぶ。	座学	1.5 h	○ ※定員あり
インタープリター学	野生生物の保全管理を行う上で収集した情報（生態、個体数等）を的確かつ適切に活用するために、得られた情報を地域住民や顧客に対して効果的に伝達する手法を学ぶ。	座学	2 h	○ ※定員あり
計			13.5 h	

### 講義内容（保全分野）

講義名称	講義内容	形態	時間	選択受講
十勝の野生生物と保全	防風林は十勝を代表する農地景観であり、ここに生息する野生生物は土地改良などによる影響を受ける。大きな影響が懸念される「樹上性哺乳類」と「猛禽類」について、十勝における生態と保全の考え方を学ぶ。	座学	1.5 h	○
野生生物の交通事故	道路網の発達は人の生活を豊かにする一方で、野生生物の生息地を分断することで、野生生物と車両の事故原因の一つとなる。事故数が多いエゾシカやタヌキ等の交通事故の現状と対策を学ぶ。	座学	1 h	○
希少植物の保全	希少植物の保全事例を紹介するとともに、保全の考え方を学ぶ。	座学	1 h	○
水生生物の保全	ニホンザリガニや希少な両生類の生態や保全事例を紹介するとともに、保全の考え方を学ぶ。	座学	1 h	○
計			4.5 h	

### 講義内容（管理分野）

講義名称	講義内容	形態	時間	選択受講
獣害防除学	農畜産業にとって獣害は経営に大きな影響を与えるものである。動物種や地域によってその被害や対策方法は異なるため、その生態や地形による課題を踏まえて罾や電気柵などの防除方法について学ぶ。	座学	1.5 h	○
十勝の野生生物と管理	エゾシカやアライグマは十勝の農畜産業に対して大きな影響を与える。効果的な管理のため、これらの生態と被害の特徴、管理の考え方について学ぶ。	座学	1.5 h	○
計			3 h	